

かくれ山の 大冒険

原作／富安陽子
『かくれ山の冒険』
(PHP研究所刊)



弱 ツチしか 掴めない 勝利

昔、小学校高学年の時にクラス対抗リレー大会があった。「原則としてクラス全員が参加」というルールに、どのクラスもみんな優勝を目指して燃えていた。僕のクラスに足に障害があって車椅子に乗った女の子がいた。みんな初めのうち、彼女は「怪我・病気等で不参加」という事で仕方ないよね、といった雰囲気だった。

それが次第に「やっぱりクラス全員で参加したい、本人が嫌でなければ」との意見が出始め、やがて「リレーに勝つためには彼女の参加は無理」派と、「勝ちたいけれど全員参加が良い」派とに別れてクラスはどんどん紛糾していった。学級会議で話し合い、皆が自分の気持ちを言い合い、時間をかけて本人の気持ちも聞いて、もしも無理の無い方法が見つければ彼女も参加すると決まった。

でもここからがまた大変。目標はあくまで優勝。皆で必死に知恵を出し合って良い案を探す。彼女が乗った車椅子を誰かが押して走るか? いや、本人が怖がってる。騎馬戦スタイル? いかにも危ない。そしてとうとう、体がデカく屈強な男子が背中におんぶして、しっかりしがみついた彼女が怖くないスピードを確認しながら走るしかない、となった。あとは走る順番が重要。彼女の出走は序盤? 中盤? 終盤? 皆で架空のレース展開を思い切り想像・妄想しながら懸命に作戦を練る。それから毎日放課後の練習。

そしてリレー大会、当日。目を見張るような見事な惨敗。泣いてるクラスメートもいた。当時はただ悔しくて悲しくて、この酷い出来事を早く忘れたいと願ったけれど、今では大切な財産となって時には僕を励ましてくれる。

「弱い」よりも「強い」方が良いし、勝負に負けるよりも勝ちたいに決まってる。でも弱いものにしか獲得出来ない「勝利」もある。例えば失敗だけでも人生はぜったいに捨てたもんじゃないということ。そんなことを子ども達に少しでも感じて貰えたらと願いながら、むすび座の素敵な役者たちと一緒に、この作品を創りました。



演出／北村直樹

PROFILE

佐賀県出身。1999年人形劇団京芸退団後、福岡を拠点とした「人形芝居ひつじのカンパニー」を設立。全国を巡演中。役者・脚本・演出の分野で活躍中。1995年第19回全国児童・青少年演劇協議会奨励賞受賞。

【主な出演作品】

「サクラがいく!」「キナコちゃんとダンス!」「あなたが見られるまで」「みてても、いい?」「ぼく、ピンチなんです!」

【主な演出作品】

人形劇団京芸：「モモ」(平成8年度文化芸術祭優秀賞受賞作品)「砂漠の街のX探偵」「ウンチしたのは誰?!」「フレデリック」「小さくなったパパ」
劇団うりんこ：「夜明けの落語」「キッドナップ・ツアー」「ぼくって、ヒーロー?」
劇団道化：「吉林食堂」「あははのぶん」
枚方市文化事業団：「トガリ山のぼうけん」
福岡国民文化祭：「眠れぬ夜の夢」

妄想力は 人生の エナジー

皆さんは今日もお忙しいですね。勉強? 宿題? 部活? 塾? …毎日やらねばならないことが一杯です。それを真面目に一生懸命取り組んでいくことは大切かもしれません。でも、人生それだけでは不十分です。大人になってごらん下さい、いろんな人間関係に遭遇しますよ。「天狗」のような人、「赤鬼」のような人、「やまんば」のような人に必ず出会います。ひょっとして「猫婦人」のような人に出会ってしまうかもしれません。大ピンチ! です。どうしましょう?

そんな時は今日見たナオ君の冒険を思い出してください。ナオ君はどちらかというと、パッとしない頼りなげな少年です。怖がり一人で何事もできません。でも相手にしっかり向き合って、とうとう自分の目的を叶えてしまいましたね。

皆さんが笑ったり、同情したり、ドキドキしたりしながら、登場人物の行動を追体験することは、人生の予行演習をしているようなものなのです。皆さんの未来に万が一ピンチが訪れたら、是非今日のキャラクターのやり取りを思い出し、妄想してみてください。そして、あなたにもかけがえのない人生の相棒ができることを祈っています。



美術／福永朝子

PROFILE

京都市立芸術大学美術学部卒業。人形劇団京芸を経て1985年人形劇団むすび座へ移籍。現在フリー。愛知人形劇センターオブジェクト・パフォーマンス・カレッジ講師。2002年~2012年(財)とらまる人形劇研究所パペットアーク講師。「ツメをなくした鬼」「名古屋心中」「わわしい女」「いろはにほへど」「地獄八景亡者戯じんたるうとつくも神の巻」「ウィッシュリスト」「ピノキオ」などの美術や幼児作品の演出など多数あり。2001年第25回全国児童・青少年演劇協議会奨励賞受賞。



かくれ山の大冒険

Story 夕暮れ時。怪しい黒猫に誘われ、くろぐろとした「かくれ山」の奥深く迷い込んで行く少年ナオ。そこは時間の流れからはずれた、妖怪たちの住む魔界だった。妖怪・猫婦人の屋敷には、魔法の力で猫の姿に変えられてしまった人間の子ども達が奴隷の様に捕らえられている。ナオもまたその一人に…。恐ろしい猫婦人の魔法から解放されるには、天狗のかくれみの、そして鬼の雷の剣を手に入れ、子どもを食う山姥の目玉を奪って猫婦人の弱点を聞き出さなければならない…!

「そ、そんなの、ぼくにはできない〜!」「ありえない〜!」
ナオの味方はシッポの折れ曲がった小さなネズミー匹。
はたしてナオは子ども達を救い出すことができるのか?
そして元の世界に帰ることができるのか?!

原作／富安陽子「かくれ山の冒険」
(PHP研究所刊)
Staff
脚色・演出／北村直樹
美術／福永朝子
音楽／ノノヤママナコ(マナコ・プロジェクト)
照明／若狭慶大(藤井照明)
写真／清水ジロー
デザイン／江利山浩二(KINGS ROAD)
制作／木田幸代

少年ナオ
誘われて
迷い込んでいく
黒猫の鳴き声に

僕、帰らなきゃ

早くここから
逃げ出して猫婦人の
弱点を見つけて
くるよ!

ここは
『かくれ山』
美味しいスープは
いかが?

うわあ〜!

頼むぞ、少年。
猫婦人を
やっつけてくれ!

勇気百倍、
ねずみもち!

いった〜!
シッポが
折れた〜!

えー!?ムリムリ!
僕は勇敢じゃ
ないもん

わしの宝物
かくれみのを
預けるから、
貸してくれ!

ジャーン、
『どこでも
葉っぱ』〜!

猫婦人の弱点は
金の縁飾りの鏡だ。
赤鬼の持つ雷の剣で
砕くしかない!

くそ〜、
なぜなぜの
答えがわからん!

ドウドウ
暗い暗い
道を歩けい

早く鏡を
割れー!

ナオ、
絶体絶命の
ピンチ!

最後まで諦めない
弱虫は弱虫じゃねえ、
ツヨムシだ

ついに
割れる!

別れ
猫婦人はさまざま
時代から子どもを
さらって来ていた。
それぞれ帰っていく
子どもたち。
そしてナオも…。

Music 「シッポ折れネズミのブルース」

ドウドウ ダダ… 暗い暗い道を歩け
ドウドウ ダダ… 狭い穴の中を進め
ドウドウ ダダ… だいたいはいうまくいかない
成功より失敗が多い
チャンスよりもピンチだらけだぜ ドウドウ ダダ…
だけどだけどお月様がニコッリ笑ってこう言ったのさ
ぜんぜん大丈夫、気にしなさんな
人生はすてたもんじゃないから
ステキなことイッパイ待ってるから

作詞／北村直樹
作曲／ノノヤママナコ
歌／いずみ

♩ = 93

A F#m
ドゥ ドゥ ダダ ドゥ ドゥ ダダ ドゥ ドゥ ダダ ダー

3 A F#m
ドゥ ドゥ ダダ ドゥ ドゥ ダダ ドゥ ドゥ ダダ ダー くら

5 A C#m F#m D
い くら い み ら を あ る け ドゥ ドゥ ダダ ドゥ ドゥ ダダ

8 E A C#m F#m
ドゥ ドゥ ダダ ダー せ ま い あ な の な か を す す め

11 D E A C#m F#m
ドゥ ドゥ ダダ ドゥ ドゥ ダダ ドゥ ドゥ ダダ ダー だ い た い は う ま く

14 F#m D E A C#m F#m D E D E
い か な い ー せ い こ う よ り ほ っ ぱ い が お お い チ ャ ンス より も

18 D D#dim E E
ドゥ ドゥ ダダ ドゥ ドゥ ダダ ドゥ ドゥ ダダ ドゥ ドゥ ダダ

21 F#m C#m D Daug E
ど だ けど お つ き ま が ニ ッ コ リ わ ら っ て こ う い っ た の さ

25 F#m E F#m F#m E F#m D D#dim
ぜん ぜん だ い い じ ゅ う き に し ー な さん な じん せい は す て た

28 E Eaug A C#m F#m
ち ん じ ゅ ない から ー ス テ キ な こ と い っ ぱ い ー

32 D E A
ま っ て る か ら



むすび座のむすびは心をむすぶのむすび

人形劇団むすび座は、1967年名古屋に誕生しました。

東海地方を中心に、活動範囲は全国に広がり、年間17万人の皆さんに御覧いただいています。

単なる“もの”でしかない人形が、ひとたび役者の手にかかるといきいきと動きだし、怒り、泣き、笑う。そんな人形劇の不思議さ、おもしろさを大いに味わってほしい。また、人形が繰り広げるドラマの世界に子どもたちが心を開き、想像の翼を広げ、元気になってほしいと思います。

♪むすび座のむすびは心をむすぶのむすび♪

このむすび座の歌のように、子どもと子ども、それを取り巻く大人たちの心と心を結ぶことができたらと願っています。



 人形劇団 **むすび座**

〒459-8001 名古屋市緑区大高町字川添86 TEL (052) 623-2374 FAX (052) 623-9520
<http://www.musubiza.co.jp/> E-mail musubiza@mc.ccnw.ne.jp